

Driver

# Stefan Johanson

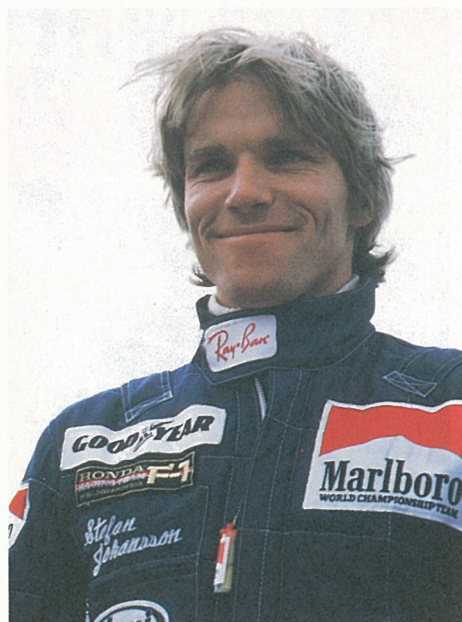
Nationality SWEDEN  
1956年9月8日

[Profile]

ひじょうに明るい性格で、ドライバー仲間に好かれていた。メカニックに対しても親切で、チーム全体を明るい雰囲気にしてくれた。

ホンダエンジンでのドライブは、F-1では初年度の6戦だけであったが、走りはダイナミックで、レース中のドライビングは素晴らしく、観戦するものを魅了するものがあった。

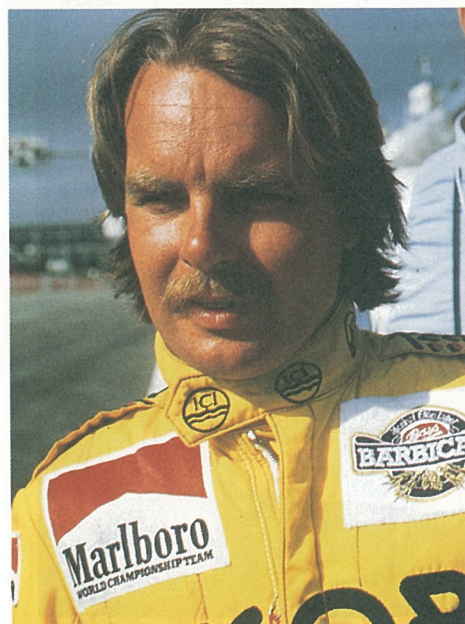
(朝霞東研究所 土師 守)



◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1983	Spirit	6	0	0	0	0	0	0	0	3

\*\*\*\*\*



# Keke Rosberg

Nationality SWEDEN  
1948年12月6日

[Profile]

F-1ドライバーの中で最も速い男を推挙するならば、その中の一人として挙げられる。セッティングが決まれば、その走りはファンを感動させるものがあり、特に、そのオーバーテイクの技術は超一流と言える。メカニックを信頼してくれて、車やエンジンのセッティングを含め共に戦ってきた印象が強い。

(朝霞東研究所 土師 守)

◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1983	Williams	1	0	0	0	0	0	1	0	0
1984	Williams	16	0	1	1	0	1	1	1	10
1985	Williams	16	2	2	2	1	2	0	0	7

# Jacques Laffite

Nationality FRANCE

1943年11月21日

## [Profile]

彼はいつも明るく、レース前でもよくジョークを言ったりして、チーム全体がリラックスできるように振る舞ってくれていた。従って、メカニックからも好かれ、信頼感のあるベテランドライバーだった。

レースになると、その集中力は素晴らしく、ドライブミスは非常に少なかった。  
(朝霞東研究所 土師 守)



## ◇Resultswith

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1983	Williams	1	0	0	0	0	0	0	0	1
1984	Williams	16	0	0	0	0	1	0	1	11

\*\*\*\*\*



# Nelson Piquet

Nationality BRAZIL

1952年8月17日

## [Profile]

繊細なセッティング能力を持ち、芸術的な走りを披露するドライバー。理屈ではなく、本能で走る。

性格は、多くのブラジリアン同様、大変陽気でいたずら好き。回りのエンジニアやメカニックと強い信頼関係にあり、また、ホンダ・メンバーから最も好感を持たれたドライバーである。

(和光研究所 西澤一俊)

## ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1986	Williams	16	2	4	3	3	1	0	0	4
1987	Williams	16	4	3	7	1	1	0	0	3
☆1988	Lotus	16	0	0	0	3	1	2	1	7

# Nigel Mansell

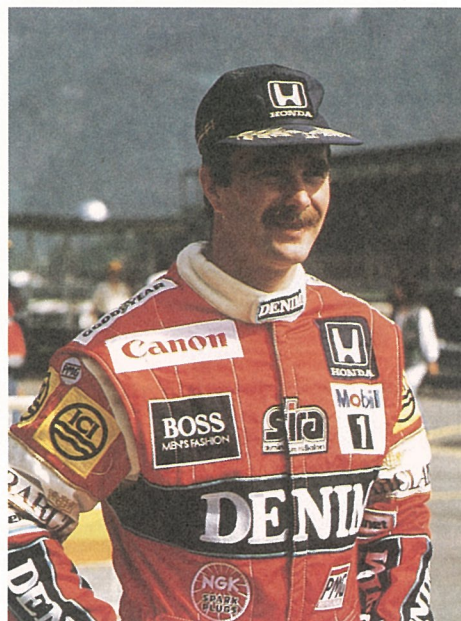
Nationality ENGLAND

1954年 8月 8日

## [Profile]

趣味はゴルフ、HC2、欧州アマ選手権で準優勝した腕前であり、かなり入れ込んでいた。テストでは、極めて冷静で正確、走行後もエンジンの状況を最初から最後までこと細かに説明してくれる。レースでは常に全力で体力、マシン、エンジンを使って走り、これらが揃った時はとにかく速い。エンジンを壊すことも度々あり、マンセルがもてばピケは大丈夫とよく言ったもの。裏を返せば、ホンダエンジンが強くなったのは、マンセルのおかげだったのかもしれない。

(和光研究所 池辺秀仁)



## ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1985	Williams	16	1	2	1	0	2	2	3	4
1986	Williams	16	2	5	2	2	1	2	0	3
1987	Williams	15	9	7	0	0	0	1	1	2

\*\*\*\*\*



# Ayrton Senna

Nationality BRAZIL

1960年 3月 21日

## [Profile]

勝利数のもとより、ポールポジションの獲得回数は群を抜いており、集中力は極めて高いものがある。

エンジン、車体に対する技術的な知識も深く、細かな制御データに至るまで把握した上でセットアップを構築する。また、走行中の挙動解析力にも優れ、開発にも大きな助けとなった。

レースのタイプは先行逃げきり型であるが、最近では、レース展開に順応した戦略も修得し、持前の速さにうまさ加わってきた。

(和光研究所 木内健雄)

## ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1987	Lotus	16	1	2	4	2	1	2	0	3
☆ 1988	McLaren	16	13	8	3	0	1	0	1	1
1989	McLaren	16	13	6	1	0	0	0	0	6
☆ 1990	McLaren	16	10	6	2	3	0	0	0	4
☆ 1991	McLaren	16	8	7	3	2	1	1	0	1
1992	McLaren	16	1	3	1	3	0	1	0	7

# 中嶋 悟

Nationality 日本  
1953年2月23日

## [Profile]

中嶋悟のドライビングセンスは誰もが認めるところである。ティレル時代のDr.ボズルスウェイト(現フェラーリ)も、世界のトップクラスの素晴らしいセンスを持っていると絶賛していた。

彼は、周囲に対し常に気配りを怠らない。これは、中嶋悟が誰からも愛される理由の一つで、ロータスでもティレルでも皆から好かれていた。  
(和光研究所 境野三知夫)



### ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1987	Lotus	16	0	0	0	0	1	1	2	5
1988	Lotus	16	0	0	0	0	0	0	1	6
1991	Tyrrell	16	0	0	0	0	0	1	0	9

\*\*\*\*\*



# Alain Prost

Nationality FRANCE  
1955年2月24日

## [Profile]

現在F-1最多勝記録を保持している。

車のセットアップ、レースの駆け引きは、他のドライバーと比べて最も緻密であり、エンジン、車体のパフォーマンスを終盤まで最大に引き出す術を心得ている。

従って、予選のような1周のタイムトライアルよりレースの終盤においても驚異的なタイムを記録するような戦略が多い技巧派である。  
(和光研究所 木内健雄)

### ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1988	McLaren	16	2	7	7	0	0	0	0	2
☆1989	McLaren	16	2	4	6	1	1	1	1	3

# Stefano Modena

Nationality Italy  
1963年 5月12日

## [Profile]

一般には暗いというイメージで見られがちだが、普段は真面目な明るい青年である。ドライビングは激しいが粗くなく、エンジン保護のためオーバーレブを抑える必要があると分かるとピタリと抑えることのできる技巧派でもある。

エンジンにはスロットルに即応するレスポンスを強く希望し、これにより、車の挙動を完全に自分のものにした欲求が非常に強かった。  
(和光研究所 境野三知夫)



## ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1991	Tyrrell	16	0	0	1	0	1	0	2	6

\*\*\*\*\*

# Gerhard Berger

Nationality AUSTRIA  
1959年 8月27日

## [Profile]

とにかくデカイ。体も心もデカイ、スポーツマンであるF-1ドライバーとしての自分と、一個人としてのプライベートな自分をきっちり分け持っている。仕事中は仕事に集中して目標を持ってガンガンテストやレースをこなす、仕事を離れた瞬間、気のいいお兄ちゃんに一気に変身する。

ドライビングは攻撃的であるが、非常に研究熱心で、ドライブチャートやエンジン、シャーシのデータを詳細に検討して自らの走りの参考にしてきた。  
(和光研究所 田辺豊治)



## ◇Results with HONDA

year	team	No.	P.P	win	2nd	3rd	4th	5th	6th	R
1990	McLaren	16	2	0	2	5	3	1	0	3
1991	McLaren	16	2	1	3	2	3	0	0	7
1992	McLaren	16	0	2	2	1	3	2	0	6